



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ  
 コード番号 9791 URL <http://www.bikentechno.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 三木 悟  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-6380-2141

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,508	2.7	956	29.2	961	26.5	507	11.4
24年3月期第3四半期	18,987	0.8	739	△14.5	760	△10.4	455	△11.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 513百万円 (19.7%) 24年3月期第3四半期 429百万円 (△17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	67.32	—
24年3月期第3四半期	60.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	27,163	11,775	43.4	1,560.90
24年3月期	26,300	11,412	43.4	1,512.78

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,775百万円 24年3月期 11,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	3.1	1,200	65.4	1,150	112.1	600	132.5	79.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	7,718,722 株	24年3月期	7,718,722 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	174,859 株	24年3月期	174,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	7,543,869 株	24年3月期3Q	7,581,152 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界は、復興需要が下支えする中ではありましたが、お客様である企業の業況判断が慎重さを増す中、非常に厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況の下、営業展開については、ファシリティマネジメントに重点をおいた活動を推し進めるとともに、コスト削減への取り組みを強化いたしました。完全子会社化した小倉興産株式会社においては、作業の効率化・作業品質向上に取り組みつつ、北九州地区でのブランド力を生かした営業活動を推進し、新規顧客開拓を進めました。

アジア地域での展開については、業務並びに情報収集の拠点としての機能を生かし、現地での入札参加等の活動を行っています。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は195億8百万円（前年同期比2.7%増）、経常利益は9億61百万円（前年同期比26.5%増）、四半期純利益は5億7百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、ファシリティマネジメントに重点を置き、省エネや建物のライフサイクルコストの低減を図る提案などの営業展開を積極的に進めました。

ビルメンテナンス部門では、作業方法の改善や機械化により品質を上げるとともに、コスト削減への取り組みを強化いたしました。エンジニアリング部門では、マンションの大規模修繕工事やオフィスビルの入退去工事を受注しております。サンテーション部門では、食品工場の生産増による受注増や新規現場の獲得も進んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は155億91百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は16億89百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介並びに保有している不動産の賃貸などを行っています。当第3四半期連結累計期間においては、賃貸収入が安定的に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億57百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は1億73百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

#### ③ 介護事業

介護事業では、入居一時金の償却期間が終了した入居者が増加しており、収支面での厳しさも見られますが、傘下の医療法人との連携を強化しており、入居者の皆様に安心して生活していただくとともに、収益の改善を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9億38百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期は4百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、前連結会計年度に開店したカジュアルイタリアンレストランのサルヴァトーレクオモ2店舗（梅田店、京橋店）が順調に推移しております。ツタヤ店舗においては、売上・利益とも減少しており、改善への取り組みを進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23億4百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は1億29百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は159億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億2百万円の増加となりました。これは主に販売用不動産が17億52百万円増加し、現金及び預金が1億32百万円減少したことによるものであります。固定資産は111億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少いたしました。

この結果、総資産は271億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億62百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は97億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億17百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が15億20百万円増加したことによるものであります。固定負債は56億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億18百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が9億99百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は153億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億99百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は117億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億63百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益5億7百万円及び剰余金の配当75百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は43.4% (前連結会計年度末は43.4%) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の「平成24年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,221,180	5,089,073
受取手形及び売掛金	2,751,820	2,454,808
商品及び製品	166,329	177,630
販売用不動産	4,737,397	6,490,223
仕掛品	4,917	5,520
原材料及び貯蔵品	36,645	38,573
その他	2,927,061	2,515,712
貸倒引当金	△782,440	△805,860
流動資産合計	15,062,911	15,965,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,511,786	3,422,856
土地	5,358,745	5,360,581
その他（純額）	418,495	443,419
有形固定資産合計	9,289,027	9,226,857
無形固定資産	393,295	364,161
投資その他の資産		
その他	1,683,855	1,718,300
貸倒引当金	△128,133	△111,848
投資その他の資産合計	1,555,721	1,606,451
固定資産合計	11,238,044	11,197,470
資産合計	26,300,956	27,163,153

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,525,814	1,431,578
短期借入金	1,700,000	3,220,000
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	2,635,960	2,626,463
未払法人税等	56,106	216,217
賞与引当金	241,196	94,023
その他	1,868,765	1,957,494
流動負債合計	8,247,843	9,765,776
固定負債		
社債	290,000	120,000
長期借入金	4,890,624	3,890,802
退職給付引当金	428,568	472,722
役員退職慰労引当金	223,544	224,623
その他	808,138	913,978
固定負債合計	6,640,875	5,622,126
負債合計	14,888,718	15,387,902
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,852,220	1,852,220
利益剰余金	7,817,984	8,174,935
自己株式	△78,449	△78,463
株主資本合計	11,400,556	11,757,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,681	17,757
その他の包括利益累計額合計	11,681	17,757
純資産合計	11,412,238	11,775,251
負債純資産合計	26,300,956	27,163,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,987,249	19,508,939
売上原価	15,244,949	15,486,298
売上総利益	3,742,299	4,022,640
販売費及び一般管理費	3,002,358	3,066,538
営業利益	739,940	956,101
営業外収益		
受取利息	32,926	39,279
受取配当金	4,937	4,633
受取保険金	22,215	3,944
持分法による投資利益	8,029	10,685
その他	61,915	58,985
営業外収益合計	130,023	117,528
営業外費用		
支払利息	86,244	73,719
支払手数料	21,967	24,433
その他	1,535	13,508
営業外費用合計	109,747	111,661
経常利益	760,217	961,969
特別利益		
固定資産売却益	23	669
投資有価証券売却益	29,580	—
特別利益合計	29,603	669
特別損失		
投資有価証券評価損	2,118	21,000
会員権評価損	150	1,000
その他	864	—
特別損失合計	3,132	22,000
税金等調整前四半期純利益	786,687	940,638
法人税、住民税及び事業税	232,037	236,405
法人税等調整額	98,926	196,363
法人税等合計	330,963	432,768
少数株主損益調整前四半期純利益	455,723	507,870
四半期純利益	455,723	507,870



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	455,723	507,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,364	6,076
その他の包括利益合計	△26,364	6,076
四半期包括利益	429,358	513,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,358	513,947
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 重要な後発事象  
該当事項はありません。